

株式会社セイキ
が紹介します!

面白がりクラブウ人

“仕事を面白がる”とは「既存の枠を壊して新しいことに挑戦し、自ら何かを変えていくこと」。
この企画では「この人こそ面白がって仕事をしてる!」と思う人を紹介してもらいます。

関係会社編

面白がり
クラブウ人

はまだ
浜田 しおりさん
株式会社セイキ
資材部 部品課
(2014年入社)

「面白がり」6項目

- ① 既存の枠にとらわれず、いつも新しいアイデアを追求しよう。
- ② 広く好奇心を持ち、いろんなことに飛び込んで行こう。
- ③ 互いの個性を受け入れ、どんどん意見をぶつけ合おう。
- ④ 一度やると決めたことは、情熱を持ってやり遂げよう。
- ⑤ だれかを驚かせ、喜ばせ、ワクワクさせよう。
- ⑥ 未来の社会に役立つものを生み出していこう。



紹介者
いとう ちあき
伊東 千晶さん
株式会社セイキ
営業技術部 設計課
(1994年入社)

ふんわり、そしてキリリ
ギャップが魅力の若き職人

当社の特長はFA(ファクトリーオートメーション)設備の設計から製造、据え付けまでを一貫して行うところ。

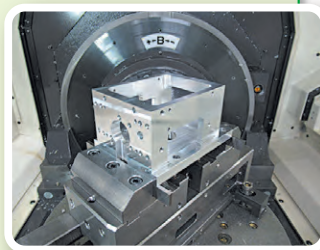
だから部署間の連携を大切にしており、部品課の浜田さんとはよく仕事上で会話をしています。設計課の私も営業に同行することがありますが、実際に「こんな設備、作れるだろうか!」と思うような客先仕様もあり、設備の肝になる部品は複雑になりそうだと感じることも。そんな時に頼りになるのが、どんな要望も諦めずにトライする浜田さんです。

外見はふわっとした優しい雰囲気、のんびりとした浜田さんは、実は操作難易度の高い5軸加工機を使用した部品加工のスペシャリスト。仕事となるとキリリとした表情に切り替わります。それでいて、仕事の精度も高い。さらに、部品加工の視点から設計者に次々と新しい提案をしてくれます。例えば、設計者が作成した図面に対して浜田さんか

らより早く加工できる形状を提案してもらい、当初のスケジュールよりも早く正確に部品を仕上げることができ、設備に携わるメンバーから高い評価をいただいたことも。

自動車のモーター部品を製作する設備の金型部品加工など、要求精度が高く社内では前例のないような難しい仕事でも、「やってみます!」と失敗を恐れずに挑戦。もともとは購買課配属で、部品課に異動するまでは加工機に触れたことがなかった浜田さんだから、常識にとらわれない方法を創意工夫できるのかもしれない。

浜田さんの仕事を見てみると、難しい作業ほど楽しんでいるように感じられます。今は主任となり、後輩の育成にも熱心。浜田さんの技術を受け継ぐ人を育ててほしいですね。



浜田さんが5軸加工機を使って製作した部品

面白がりポイント

設計者と話を詰めながら高い技術で精密な部品を仕上げる、決してあきらめないチャレンジ精神

株式会社セイキはこんな会社です!



当社は1976年の創業以来、FAに必要不可欠な「省力化・自動化設備」を設計・製作している会社で、2021年2月にクラブウグループに加わりました。自社で設計から製造・据付までを一貫して行うことができるのが強みであり、今後も世界で必要とされる最先端の工場FA化に貢献していきます。


<https://www.seiki-toyama.co.jp>